



臨床研究に関する情報の公開

作成日 : 1.0 版 2022/11/16

研究課題名	COVID-19 流行下における安定期 COPD 患者の身体活動量への影響についての後方視研究
研究の対象	近畿大学病院 呼吸器アレルギー内科・外来呼吸リハビリテーション通院中の慢性閉塞性肺疾患患者（以下 COPD） 選択基準 対象患者は下記のすべての基準を満たす患者とします。 <ul style="list-style-type: none">● 1) 男性患者● 2) ADL が自立しており、運動に制限が生じる整形・心疾患がない 65 歳以上の患者● 3) 主要臓器（骨髄、心、肝、腎など）に高度な障害がない患者● 4) 研究に用いる資料・情報の種類に記載されている項目について欠損のない患者● 対象期間：2018 年 4 月～2019 年 3 月, 2021 年 4 月～2022 年 3 月までに、当院呼吸器・アレルギー内科、外来リハビリテーションに通院していた COPD 患者
研究目的・方法	新型コロナウイルス (COVID-19) 感染リスクは、近年にない健康不安をひきおこしています。COVID-19 流行下における行動制限と歓声予防対策の観点から、COPD 患者の歩数や身体活動量は減少していることが推測されます。COPD 疾患では、日常の活動量が生命予後に最も関連が強いことが分かっています。そこで、過去のデータを基に当院通院中の COPD 患者の COVID-19 による歩数や身体活動量に対する影響を調査します。当科で COPD に対する治療を受けられた患者様のうち、男性の方を対象として、診療情報のみを研究に利用します。利用する情報は、患者様個人が特定されないようにした上で、個人情報に関しては、厳重に管理します。なお、それらの情報を他の機関へ提供することはありません。
研究に用いる資料・情報の種類	以下の情報を、カルテ診療録より収集致します 1. 身体活動量（歩数、運動強度時間） 2. 肺機能検査 3. 6 分間歩行距離 4. 鬱不安症状検査：The Hospital Anxiety and Depression Scale 5. 生活の質 (QOL)：COPD assessment test 6. 活動領域の測定：Life-Space assessment 7. 身体組成：seca mBCA525
外部への資料・情報の提供	本学単独研究のため、外部への資料・情報提供はありません。
研究組織	研究責任者 リハビリテーション医学 臨床教授 東本 有司（医師） 研究分担者 リハビリテーション部 水澤 裕貴（理学療法士）
お問い合わせ先	本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。 ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。なお、情報の利用



近畿大学病院 [リハビリテーション科]

	<p>を拒否しても不利益を被ることはありません。</p> <p>照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先： 〒589-8511 大阪狭山市大野東 377-2 連絡先：近畿大学医学部リハビリテーション医学教室 臨床教授 東本有司 連絡方法： E-mail: yhigashimoto@med.kindai.ac.jp 電話：072-366-0221 内線：8570</p>
情報の管理に責任を有する機関の名称	近畿大学医学部